2027年3月期 第2四半期（中間期）

決算説明資料



松田産業株式会社
MATSUDA SANGYO CO., LTD.

Copyright ©　MATSUDA SANGYO CO.,LTD.

本資料は、弊社についてご理解を深めていただくことを目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものであります。将来の業績は、経営環境の変化等に伴い、目標と異なる可能性があることにご留意ください。

<お問い合わせ先>

松田産業株式会社
CSR・IR部
お問い合わせフォーム ：https://www.matsuda-sangyo.co.jp/ja/contact/contact4.html

Copyright © MATSUDA SANGYO CO.,LTD.

目次

1. 連結決算の概要

2. セグメント別の業績と通期見通し

3. 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて

Appendix

Copyright © MATSUDA SANGYO CO.,LTD.

1. 連結決算の概要

松田産業株式会社
MATSUDA SANGYO CO., LTD.

Copyright © MATSUDA SANGYO CO.,LTD.

連結業績

貴金属関連事業・食品関連事業における増収増益を受け、売上高及び営業利益は前年同期比で増加

（億円）

	2026年3月期 上期	2027年3月期 上期	増減	
売上高	2,882	3,913	+1,031	+35.8%
営業利益	80	168	+88	+108.5%
営業利益率	2.8%	4.3%	+1.5pt	-
経常利益	84	176	+92	+109.5%
中間純利益	61	122	+61	+99.8%

※前連結会計年度において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2026年3月期中間期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

Copyright © MATSUDA SANGYO CO.,LTD.

連結貸借対照表

【資産の部】　（億円）

	2026年3月末	2026年9月末	増減	主な増減要因
流動資産	1,707	**1,564**	▲143	（－）棚卸資産の減少
固定資産	570	**575**	+5	（＋）工場設備の新設等
資産合計	2,277	**2,140**	▲137	

【負債の部】

	2026年3月末	2026年9月末	増減	主な増減要因
流動負債	839	**553**	▲286	（－）短期借入金及び前受金の減少
固定負債	247	**289**	+42	（＋）長期借入金の増加
うち有利子負債	524	**424**	▲100	
負債合計	1,087	**842**	▲245	

【純資産の部】

	2026年3月末	2026年9月末	増減	主な増減要因
純資産合計	1,190	**1,297**	+107	（＋）利益剰余金の増加
負債純資産合計	2,277	**2,140**	▲137	

自己資本比率	52.0%	**60.3%**

Copyright ©　MATSUDA SANGYO CO.,LTD.

連結キャッシュ・フロー計算書

（億円）

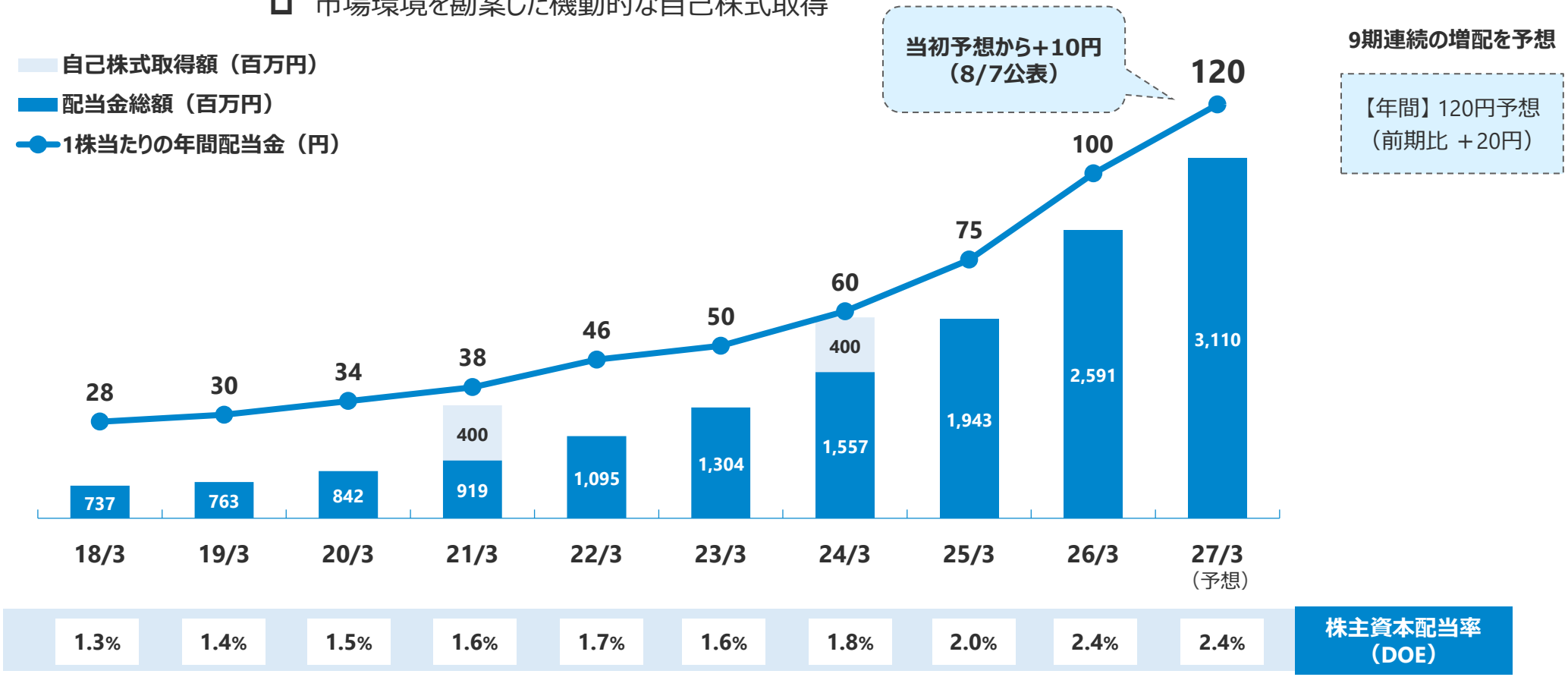
	2026年3月期 上期	2027年3月期 上期	当期の主な増減要因
営業キャッシュ・フロー	36	**129**	（＋）税金等調整前中間純利益、棚卸資産の減少
投資キャッシュ・フロー	▲25	**▲8**	（－） 有形固定資産の取得による資金の減少
フリー・キャッシュ・フロー	11	**121**	
財務キャッシュ・フロー	13	**▲113**	（－）短期借入金及び長期借入金の返済、配当金の支払い
その他	▲3	**1**	
現金及び現金同等物の増減	22	**8**	
現金及び現金同等物の期末残高	136	**153**	

Copyright © MATSUDA SANGYO CO.,LTD.

株主還元

株主還元方針

- 成長投資の為の内部留保とのバランスを考慮しつつ、安定且つ持続的な配当を実施
- 株主資本配当率（DOE）を目安とした還元
- 市場環境を勘案した機動的な自己株式取得



※DOE＝配当性向×ROE

Copyright © MATSUDA SANGYO CO.,LTD.

2. セグメント別の業績と通期見通し

松田産業株式会社
MATSUDA SANGYO CO., LTD.

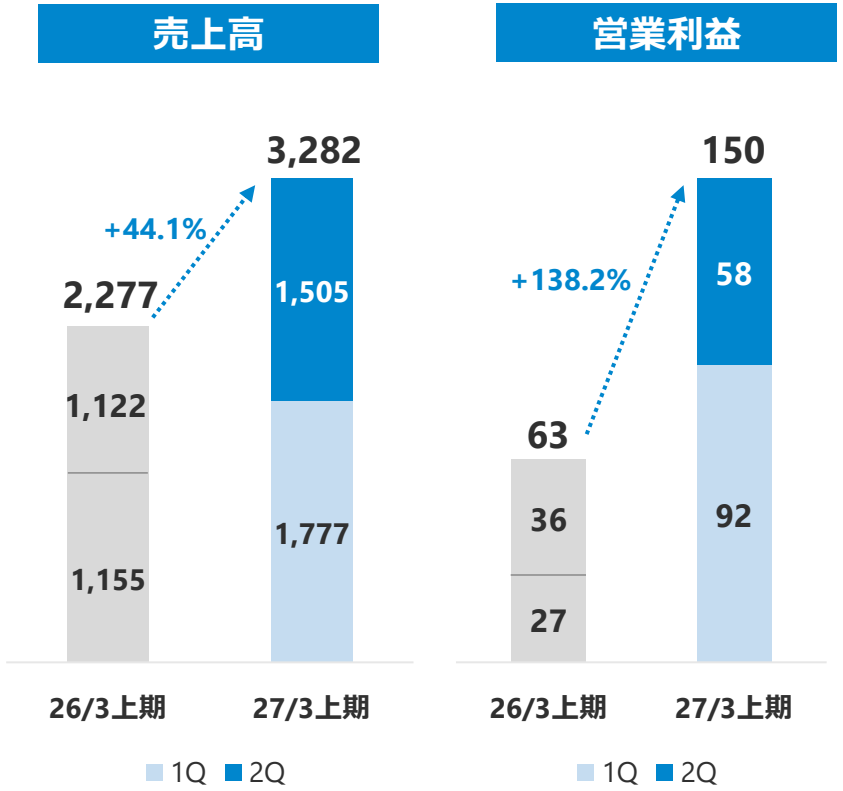
Copyright © MATSUDA SANGYO CO.,LTD.

セグメント別の業績（貴金属関連事業）

電子デバイス分野を対象とした貴金属リサイクルの取扱量及び製商品の販売量が増加

（億円）

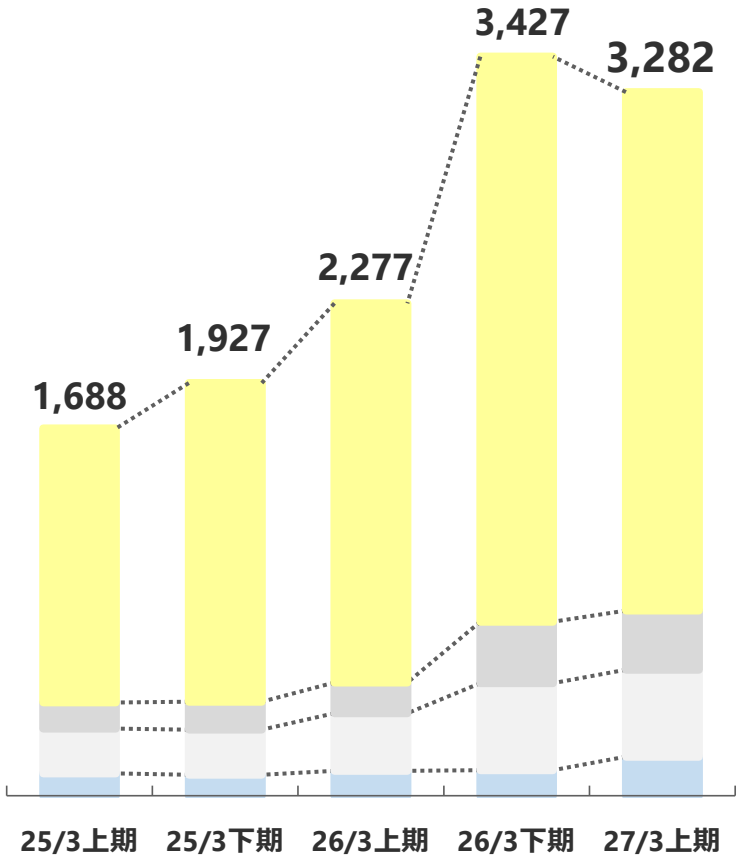
	2026年3月期 上期	2027年3月期 上期	増減	
売上高	2,277	**3,282**	+1,005	+44.1%
営業利益	63	**150**	+87	+138.2%
営業利益率	2.8%	**4.6%**	+1.8pt	-



Copyright © MATSUDA SANGYO CO.,LTD.

品目別売上高の推移（貴金属関連事業）

電子デバイス分野を対象とした貴金属リサイクルの取扱量及び製商品の販売量が増加し、
売上高は前年同期比+1,005億円



（億円）

	27/3上期	増減		増減要因
金	2,403	+643	+36.6%	数量要因▲6.0%、価格要因+42.6%
銀	274	+133	+94.6%	数量要因▲5.7%、価格要因+100.3%
白金族	403	+134	+50.0%	数量要因▲3.6%、価格要因+53.6%
その他	200	+93	+86.9%	（非鉄、産廃処理 他）

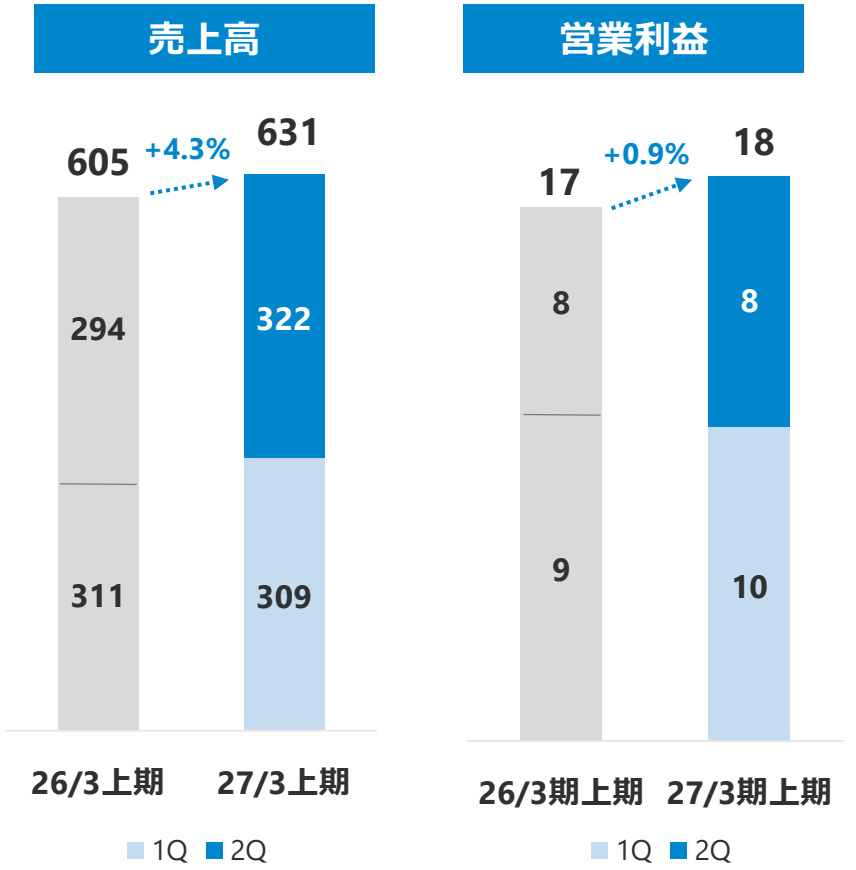
Copyright © MATSUDA SANGYO CO.,LTD.

セグメント別の業績（食品関連事業）

水産品及び畜産品の販売量が減少したものの、農産品の販売量増加により、
売上高及び営業利益は前年同期比で増加

（億円）

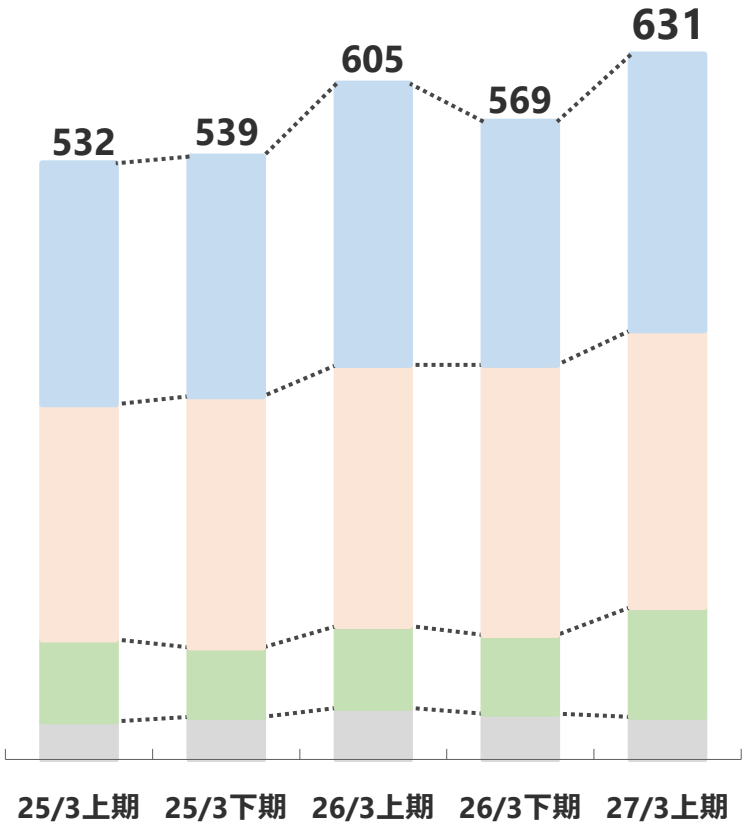
	2026年3月期 上期	2027年3月期 上期	増減	
売上高	605	**631**	+26	+4.3%
営業利益	17	**18**	+1	+0.9%
営業利益率	2.9%	**2.9%**	▲0pt	-



Copyright © MATSUDA SANGYO CO.,LTD.

品目別売上高の推移（食品関連事業）

水産品及び畜産品の販売量が減少したものの、農産品の販売量増加や販売単価の上昇により
売上高は前年同期比+26億円



（億円）

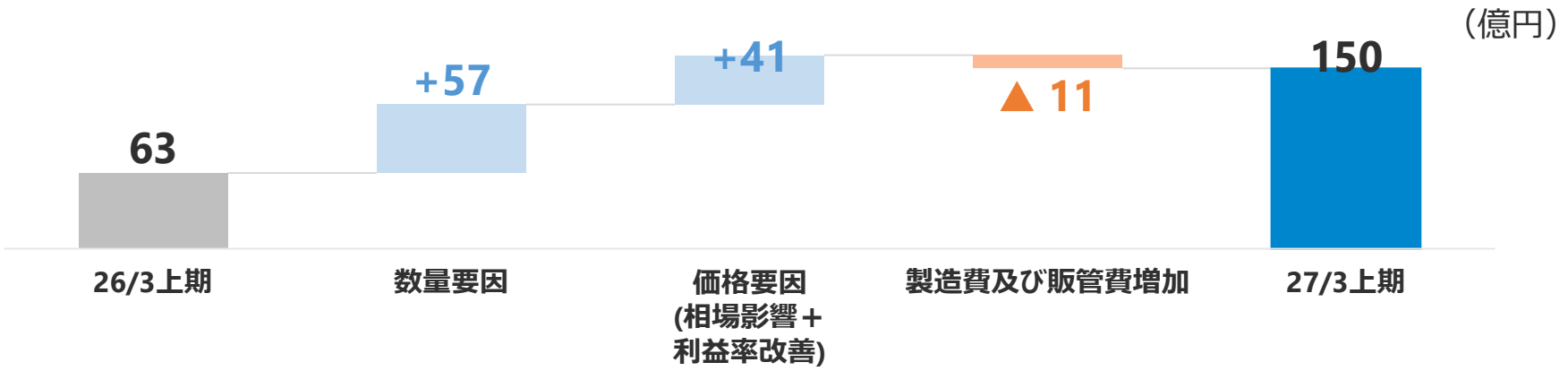
	27/3上期	増減		増減要因
水産品	247	+14	+6.0%	数量要因▲0.2%、価格要因+6.2%
畜産品	246	▲5	▲2.0%	数量要因▲8.0%、価格要因+6.0%
農産品	98	+25	+33.7%	数量要因+25.3%、価格要因+8.5%
その他	38	▲8	▲16.4%	-

Copyright © MATSUDA SANGYO CO.,LTD.

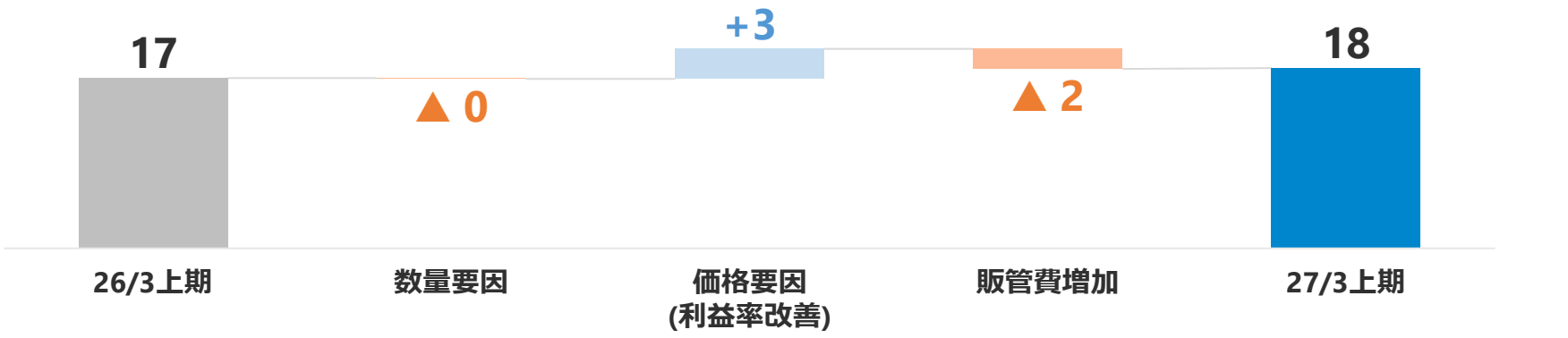
営業利益の増減

貴金属関連事業は、電子デバイス分野での数量増加並びに貴金属相場が貢献
食品関連事業は、価格転嫁や高付加価値商品の販売増などで利益率を改善

貴金属関連事業



食品関連事業



Copyright © MATSUDA SANGYO CO.,LTD.

業績見通し

セグメント別の業績予想について、以下の通り修正

（億円）

		2026年3月期 実績	当初予想 （5/13公表）	修正予想 （8/7公表）	対当初予想	対前期実績
貴金属関連事業	売上高	5,704	5,800	**6,181**	+381	+8.4%
	営業利益	193	209	**251**	+42	+29.8%
食品関連事業	売上高	1,174	1,200	**1,219**	+19	+3.8%
	営業利益	31	31	**34**	+3	+9.9%
合計	売上高	6,878	7,000	**7,400**	+400	+7.6%
	営業利益	224	240	**285**	+45	+27.0%

Copyright © MATSUDA SANGYO CO.,LTD.

3. 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて

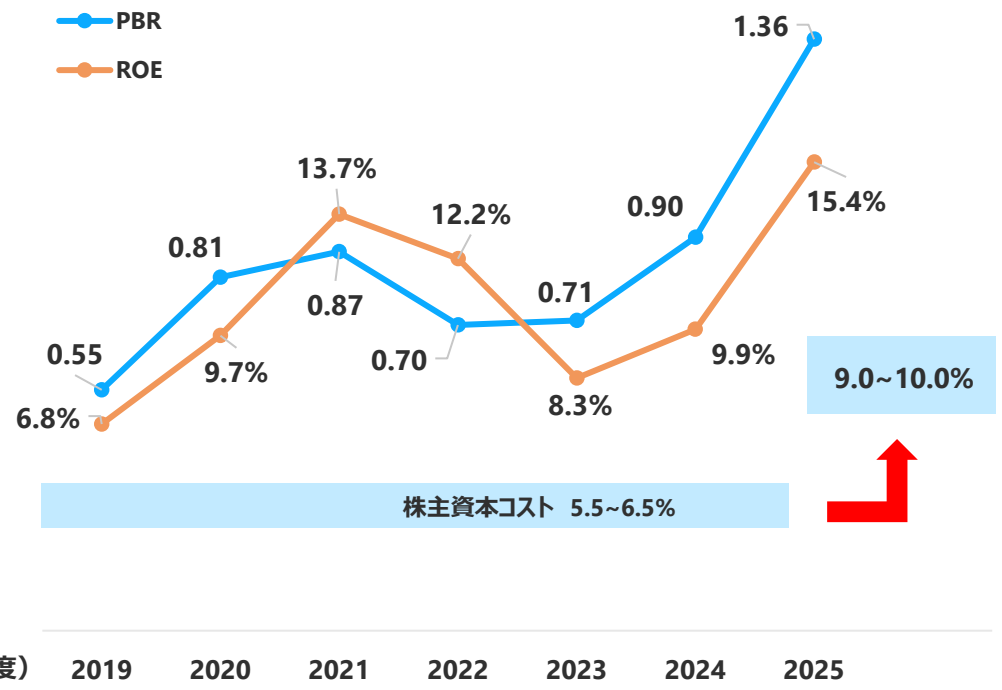
松田産業株式会社
MATSUDA SANGYO CO., LTD.

Copyright © MATSUDA SANGYO CO.,LTD.

現状認識

株主資本コストの大幅な上昇に対し、ROEの上方達成によってエクイティスプレッドを確保
株価の上昇によってPBRは１倍以上を維持するも、PERの向上の課題は継続

株主資本コスト・ROE・PBRの推移



- 長期金利の上昇に伴うリスクフリーレート上昇とβ値上昇が影響し、 CAPMにより推定する当社の株主資本コストは9～10%程度に上昇
- 株主資本コストの上昇（5.5～6.5%⇒9.0～10.0%）に対し、2025年度は業績好調などに伴いROEも上昇し、一定のエクイティスプレッドを確保
- 業績の大幅な改善に加えて、日本株全体の好調も重なり当社株価が2025年度下期より大幅に上昇し、PBRの1倍割れを脱却（1.3倍程度まで改善）
- ROEの改善に比して、PERは凡そ10倍前後で推移する伸び悩み傾向が続いており、引き続きの課題として認識

Copyright © MATSUDA SANGYO CO.,LTD.

PBR改善に向けた方針と取組み

方針

PBR改善に繋がる資本収益性の向上に向けて、中期経営計画の着実な推進で経営目標の達成を目指すとともに、「資本効率の向上」と「成長期待の醸成」を重要課題として、施策の実行に取り組む

中期経営計画2028（2026～2028年度）

（2026～2028年度中期の目標）

営業利益	営業CF・累計	ROE	ROA
280億円	350億円	11%以上	10%以上

＜基本方針＞

- マテリアリティの取組の経済価値化を図り、中長期での企業価値向上を目指す
- 貴金属・食品の双方を成長の牽引役とし、収益基盤強化と新規収益源創出
- 持続的成長を支え、加速させる経営基盤を強化

貴金属関連事業
資源循環(活用)を創造するリーディングカンパニー

食品関連事業
お客様の商品開発のベストパートナー

経営基盤強化
DX推進・セキュリティ強化と人的資本経営の推進

（重要課題と施策）

資本効率の向上

業績拡大によるROEの向上と営業キャッシュフローの創出加速

- 利益成長＋運転資金適正化を重点管理
- 在庫・売上債権回転率の改善で運転資本圧縮

資本政策の的確な実行

- 財務健全性の確保を考慮しつつ、成長への事業投資と株主還元の充実に向けた政策の実行

成長期待の醸成

IR活動を通じた対話の強化

- 開示情報の改善、対話機会の強化を通じ、当社の持続的成長シナリオや競争優位性などの理解向上
- 投資家意見の適切な経営へのフィードバック

Copyright © MATSUDA SANGYO CO.,LTD.

重要課題と施策の進捗

重要課題	施策	進捗
資本効率の向上	**営業キャッシュフローの創出加速** 資本効率の向上、持続的成長や株主還元への原資拡大に向け、優先的課題として営業キャッシュフローの改善・拡大を目指す	• キャッシュフローを意識した事業経営・管理強化を開始 • 営業CF（2Q: 129億円）、FCF（2Q: 121億円）ともに順調に改善
資本効率の向上	**資本政策の的確な実行** 財務健全性の確保を考慮しつつ、成長への事業投資と、株主還元の充実に向けた政策を実行する	• キャッシュフロー改善による財務健全性の向上 • 事業投資は、資材供給や人材不足などを背景に若干の後ろ倒し傾向となる • 株主還元では、配当予想を120円へ増配（9期連続の増配を予定）
成長期待の醸成	**IR活動を通じた対話の強化** 開示情報の改善、対話機会の強化を通じ、当社の持続的成長シナリオや競争優位性などの理解向上を促進	• 投資家意見とベンチマークによる開示情報充実への課題を整理中 • 投資家個別面談の機会増大（前年同期比164%） • 取締役会においてIR活動報告を実施

Copyright © MATSUDA SANGYO CO.,LTD.

資本政策/キャッシュ・アロケーション

資本政策（基本方針）

成長性を捉えた**事業機会への最適資源配分**、**財務健全性の確保**、**株主還元**のバランスを考慮し、持続的に企業価値を向上させる

＜中期経営計画（2026～2028年度累計）に基づく、キャッシュ・アロケーションの想定＞

利益成長・収益改善
＋
運転資金の適正化

→ キャッシュリターンの最大化

キャッシュ・イン

営業キャッシュ・フロー
約350億円

キャッシュ・アウト

事業投資
約180億円
設備投資（定常）
約130億円

財務健全性の確保
※ 借入金の返済を含む

株主還元
100～120億円程度

事業投資
生産インフラ拡充/強化
新規収益源の創出
経営基盤強化）IT投資、人材育成/確保

自己資本比率の維持
安定強固な事業運営を続けるための
健全な財務体質の維持

安定かつ持続的な配当
＆機動的な自己株式取得
株主資本配当率（DOE）を目安にした還元と
市場環境を勘案した機動的な自己株式の取得

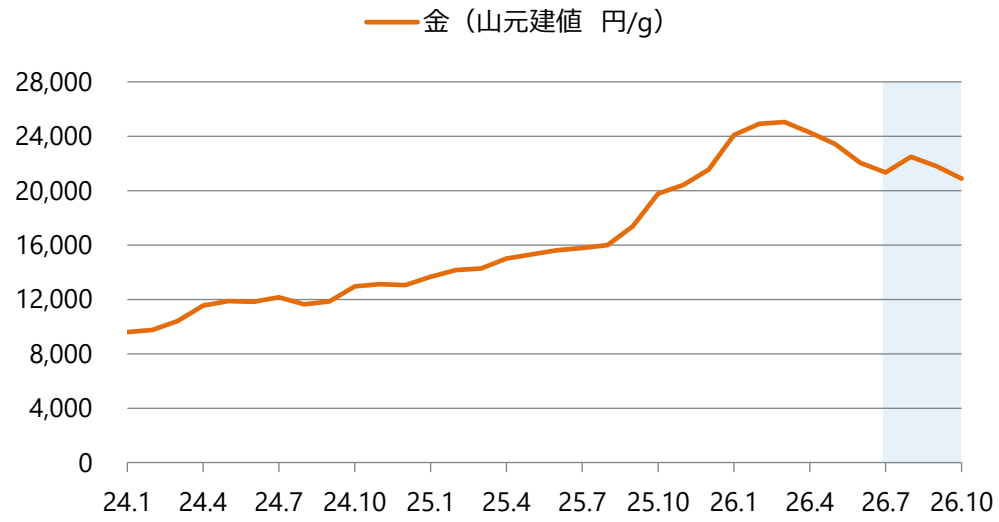
Copyright © MATSUDA SANGYO CO.,LTD.

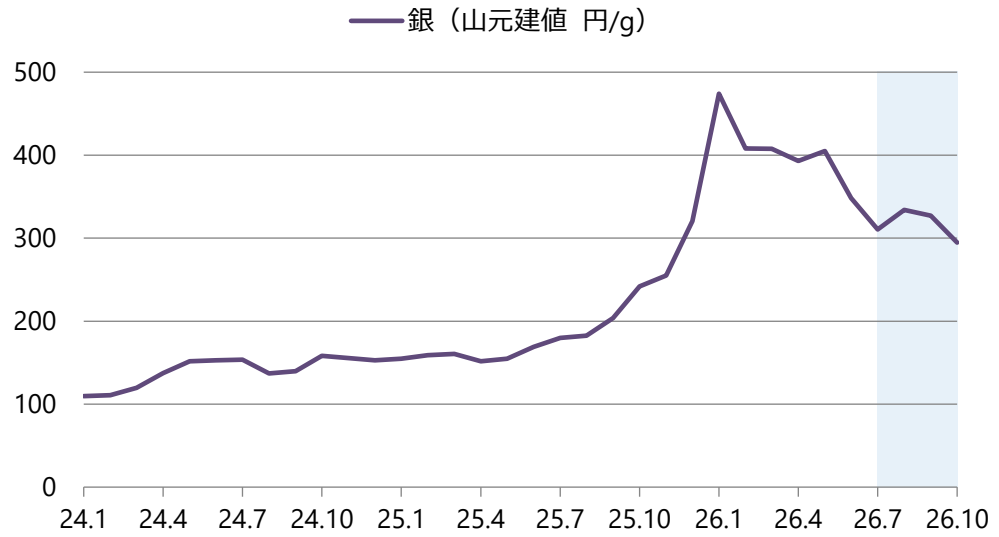
Appendix

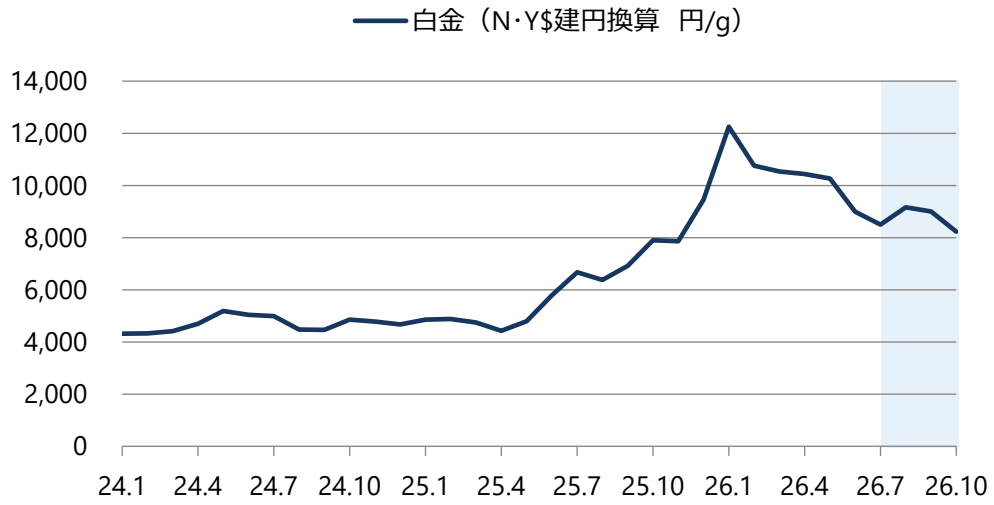
松田産業株式会社
MATSUDA SANGYO CO., LTD.

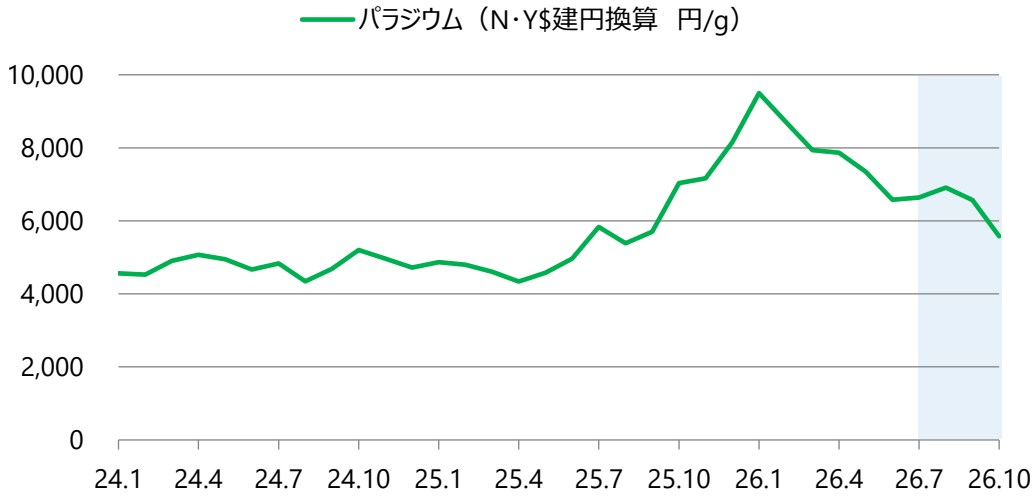
Copyright © MATSUDA SANGYO CO.,LTD.

貴金属相場の推移





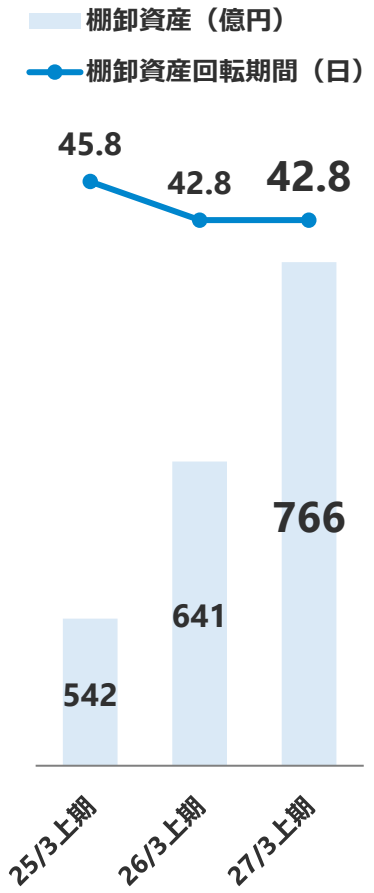




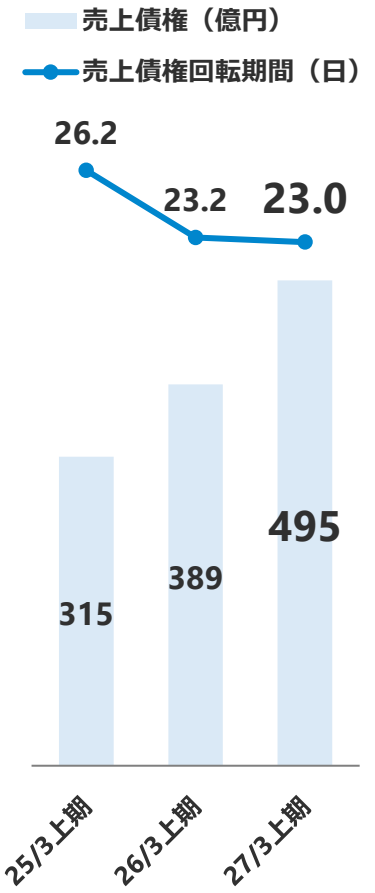
Copyright ©　MATSUDA SANGYO CO.,LTD.

運転資本の推移

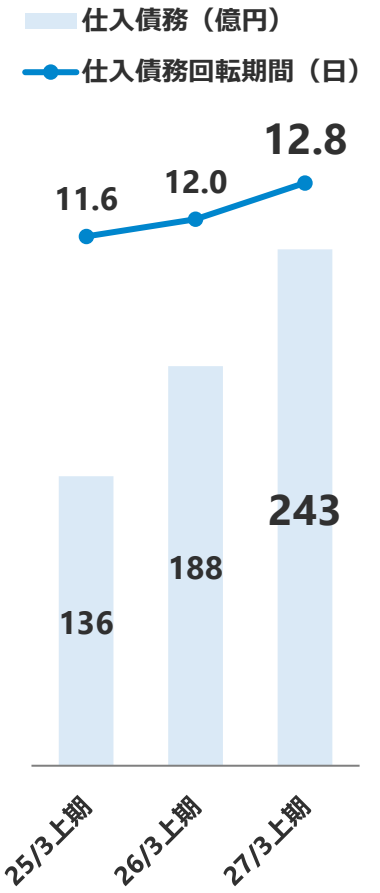
棚卸資産



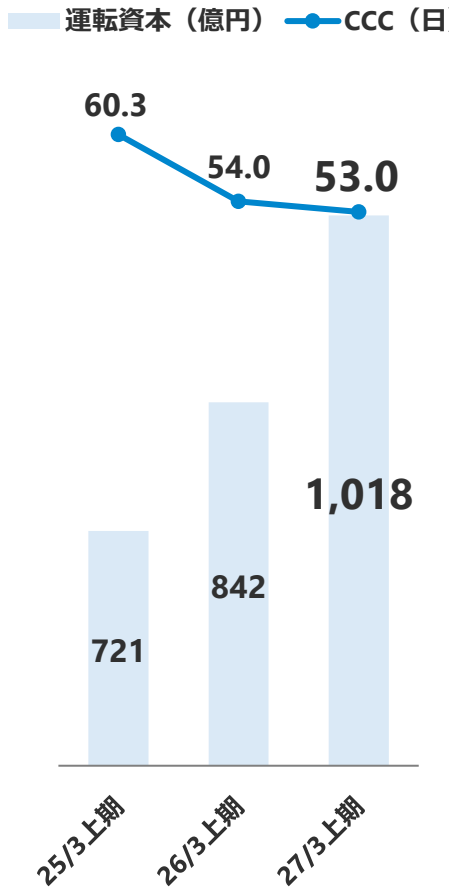
売上債権



仕入債務



CCC



*1 棚卸資産回転期間＝棚卸資産(期首・期末の平均)÷売上原価×183
*2 売上債権回転期間＝売上債権(期首・期末の平均)÷売上高×183
*3 仕入債務回転期間＝仕入債務(期首・期末の平均)÷売上原価×183
*4 CCC(Cash Conversion Cycle)＝棚卸資産回転期間＋売上債権回転期間－仕入債務回転期間

Copyright © MATSUDA SANGYO CO.,LTD.


松田産業株式会社
MATSUDA SANGYO CO., LTD.